

(様式 1-3)

福島県(富岡町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	21	事業名	曲田地区都市再生区画整理事業(駅前広場環境整備事業)		事業番号	◆(1)-9-1-1
交付団体		富岡町	事業実施主体(直接/間接)		富岡町(直接)	
総交付対象事業費		(116,000(千円)) 131,000(千円)	全体事業費		(116,000(千円)) 131,000(千円)	
帰還環境整備に関する目標,						
曲田土地区画整理事業は富岡町災害復興計画(第二次)において「市街地復興先行ゾーン」ということで、町再生の第一歩として、居住環境・生活サービス機能の集約・充実を図るエリアであり、JR 富岡駅前に駅前広場を整備し町の玄関口の機能向上を図り、帰還促進を図る。						
事業概要						
平成 23 年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により甚大な被害を受けた JR 常磐線富岡駅近郊(曲田土地区画整理地内)は、富岡都市計画事業 曲田土地区画整理事業(平成 8 年事業認可~令和 2 年度事業完了予定)の中心であり、まちづくりの要となる箇所であった。また、平成 27 年 6 月に策定した富岡町災害復興計画(第二次)においても居住環境・生活サービス機能の集約・充実を図り、町の再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める地区とされている。						
このため、特に被害が大きかった駅前周辺の計画変更を平成 27 年度に行い、JR 常磐線富岡駅の駅前広場等を含めた町の玄関口、そして津波被害地域並びに町内帰還希望者の代替居住地としての優良な住宅地とあわせ復興の中核拠点を整備するために必要な、駅前広場整備と一体的に駅前駐車場を整備する。						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
富岡町災害復興計画(第二次)の P49~50 の土地利用方針において、当該地区は「市街地復興先行ゾーン」に位置付け。P51 の整備施設と機能において、駅前エリアとして駅前広場が位置付け。						
当面の事業概要						
<令和元年度>						
・駅前駐車場の舗装工事等(650 m ²)						
地域の帰還環境整備との関係						
当該地区は、町再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める「市街地復興先行ゾーン」として、帰還する住民の居住環境、生活サービス機能の集約・充実を図る場所であり、JR 富岡駅前に駅前広場を整備することにより町の復興拠点の機能や利便性の向上を図る。						
関連する事業の概要						
曲田土地区画整理事業地内にできる復興拠点から県道広野小高線と国道 6 号を結ぶアクセス道路を整備することにより、拠点としての機能向上と駅周辺の立体的な利用促進を図る。						
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号	(1)-9-1					
事業名	曲田地区都市再生区画整理事業(被災市街地復興土地区画整理事業)					
交付団体	富岡町					
基幹事業との関連性						
・曲田地区実施計画書で位置づけられている駅前広場の施設整備と一体的に駐車場等を整備することで、富岡駅及び駅前広場を利用する方々の利便性、居住環境・生活サービス機能が向上することで、町玄関口の駅前広場としての機能向上が図られる。						

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	42	事業名	富岡町災害公営住宅家賃低廉化事業	事業番号	(1)-2-1
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町(直接)		
総交付対象事業費	(231,048 (千円)) 397,822 (千円)	全体事業費	(231,048 (千円)) 397,822 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
富岡町災害復興計画(第二次)に基づき、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされた帰還困難区域の町民など、経済的理由により住宅再建ができない町民の帰還にあたり、安心して生活できる居住環境整備として災害公営住宅を整備した。 入居者の速やかな生活再建に資するため、居住の安定確保を図る。					
事業概要					
福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされた帰還者向けに整備された災害公営住宅に入居した町民に対し、経済的支援として家賃の一部を支援する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください <富岡町災害復興計画(第二次)> 【 P61、74 第 5 章 「分野別の具体的取り組み」、「個々の状況に応じた生活再建支援の実施」に位置付けられている】					
当面の事業概要					
<令和元年度> 家賃低廉化に対する補助 対象住宅 ・曲田第一団地 木造平屋建 64 戸 ・曲田第二団地 重量鉄骨造 3 階建集合住宅 40 戸 ・栄町団地 重量鉄骨造 4 階建集合住宅 50 戸					
地域の帰還環境整備との関係					
当町は、東日本大震災による地震及び津波災害に加え、原子力災害の被災地であり、住宅被害も、地震による損壊、津波による流失、原子力災害による高線量化、長期避難による野生動物被害など様々であり、町内で生活できる環境を確保し、速やかな生活再建に資する支援を行うことで帰還促進が図られる。					
関連する事業の概要					
富岡町災害公営住宅整備事業 曲田土地区画整理事業					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	43	事業名	富岡町災害公営住宅家賃低減事業		事業番号	(1)-3-1
交付団体	富岡町		事業実施主体（直接/間接）		富岡町（直接）	
総交付対象事業費	(22,874（千円）） 41,262（千円）		全体事業費		(22,874（千円）） 41,262（千円）	
帰還環境整備に関する目標						
富岡町災害復興計画（第二次）に基づき、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされた帰還困難区域の町民など、経済的理由により住宅再建ができない町民の帰還にあたり、安心して生活できる居住環境整備として災害公営住宅を整備した。 入居者の速やかな生活再建に資するため、居住の安定確保を図る。						
事業概要						
福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされた帰還者向けに整備された災害公営住宅に入居した低所得者に対し、経済的支援として家賃の一部を支援する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください <富岡町災害復興計画（第二次）> 【 P61、74 第 5 章 「分野別の具体的取り組み」、「個々の状況に応じた生活再建支援の実施」に位置付けられている】						
当面の事業概要						
<令和元年度> 家賃低廉化に対する補助 対象住宅 ・曲田第一団地 木造平屋建 64 戸 ・曲田第二団地 重量鉄骨造 3 階建集合住宅 40 戸 ・栄町団地 重量鉄骨造 4 階建集合住宅 50 戸						
地域の帰還環境整備との関係						
当町は、東日本大震災による地震及び津波災害に加え、原子力災害の被災地であり、住宅被害も、地震による損壊、津波による流失、原子力災害による高線量化、長期避難による野生動物被害など様々であり、町内で生活できる環境を確保し、速やかな生活再建に資する支援を行うことで帰還促進が図られる。						
関連する事業の概要						
富岡町災害公営住宅整備事業 曲田土地区画整理事業						
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						

(様式 1 - 3)

福島県 (富岡町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 10 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	57	事業名	夜ノ森駅前広場環境整備事業	事業番号	(2)-19-1
交付団体	富岡町	事業実施主体 (直接/間接)	富岡町 (直接)		
総交付対象事業費	4,974 (千円)	全体事業費	4,974 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>富岡町復興再生拠点区域復興再生計画において、令和元年度末の JR 常磐線再開通にあわせ、鉄道施設区域及び夜ノ森駅へのアクセス道路等駅周辺の一部の避難指示解除を目指すとしている。一部避難指示解除に向けて、安心して帰還できる環境を整えるため、復興再生拠点区域の玄関口となる駅前広場の環境整備を図ることで、帰還促進を図る。</p>					
事業概要					
<p>平成 31 年 3 月の富岡町住民意向調査報告書によると、富岡町帰還する場合に必要な施策として「更なる放射線量の低減」の回答が 49.8%、富岡町への帰還を判断するために必要なこととして「放射線量の低下の見通し、除染成果の状況」の回答が 28.8%、富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由として「放射線量が低下せず不安だから」の回答が 27.4%となっており、住民の帰還には放射線に対する不安払拭が重要な課題となっている。</p> <p>このため、令和元年度末の JR 常磐線再開通にあわせた駅周辺の一部の避難指示解除にあたり、環境省による除染後においてもなお、住民の低放射線への不安払拭に至っていない駅前広場について、オーバーレイ舗装をすることで、復興再生拠点区域の玄関口となる駅前広場の環境整備を図り、帰還促進を図る。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>富岡町復興再生拠点区域復興再生計画の P3 の「2. 計画の意義目標」の「避難指示解除による住民の帰還及び居住開始時期の目標」において、令和元年度末の JR 常磐線再開通にあわせ、鉄道施設区域及び夜ノ森駅へのアクセス道路等駅周辺の一部の避難指示解除を目指すとしている。</p>					
当面の事業概要					
<p><令和元年度></p> <p>・夜ノ森駅前広場敷地内舗装工事</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>常磐線再開通にあわせて、駅周辺の復旧や夜ノ森駅の東西を結ぶ東西自由通路等の整備を進めており、周辺環境の一体整備により、当該地区の住民の帰還はもとより、既に避難指示が解除されている住民にとっても生活利便性の向上につながり帰還促進が期待され、当該区域の玄関口でもある駅周辺の放射線不安対策を含めた環境整備が必要不可欠である。</p>					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	